



阿見町男女共同参画社会推進講演会報告



ユーモアあふれるトークで会場は大盛り上がり！

10月6日（日）、本郷ふれあいセンターにて、バイリンガル落語家のダイアン吉日氏を講師に迎え、「ダイアンから見た日本～笑いで世界をひとつに～」がテーマの講演会を開催しました。

講演会では、「多文化共生」に向けた相互理解の大切さなどについて、ご自身の体験談を交え、お話を聞かせていただきました。

参加者のみなさんからは、「毎日笑顔で過ごしたいと思いました」「互いに理解しあう多文化共生のあり方について、あらためて考えることができました」などの感想をいただきました。



問合せ先：阿見町男女共同参画センター（愛称：AMI ふらっとセンター）

〒300-0333 阿見町若栗 1886-1 中央公民館 1 階

火曜日～日曜日 9：00～17：00

電話・FAX 029-896-3181

E-mail danjokyodosankakucenter@town.ami.lg.jp



「女性に対する暴力をなくす運動」の取組み



男女共同参画パネル展開催

11/12(月)～11/24(日)
本郷ふれあいセンター ロビー

毎年11月は、茨城県男女共同参画推進月間であり、11/12～11/25までの2週間は、国の「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です。町ではこの期間に合わせ、「パートナー等に対する暴力の撲滅」をテーマに「性犯罪・性暴力」「子ども・若者の性被害」の被害状況と対応の取り組み等をパネル展示し、啓発活動を実施しました。展示内容の一部を紹介します。

こどもの性被害

子どもに対する性犯罪・性暴力は、被害にあった当事者の心身に長期にわたり有害な影響を及ぼす極めて悪質な行為です。相手と対等な関係でなかったり、断れない状況であったり、はっきり嫌だと言えない状況で、子どもたちが被害にあっています。



たとえば…

- 着替え、トイレ、入浴をのぞかれた
- 抱きつかれた、キスされた
- 服を脱がされた
- 水着で隠れる部分(プライベートゾーン)を触られた
- 痴漢にあった
- 下着姿や裸の写真・動画を撮られた、送るように要求された

ワンストップ支援センターへの相談者の性別・年齢

性別は、女性が大半を占めるが、男性からの相談も電話では約1割となっている。被害時の年齢は、約半数を10代以下が占めており、中学生以下に限っても、3割に上る。

性別

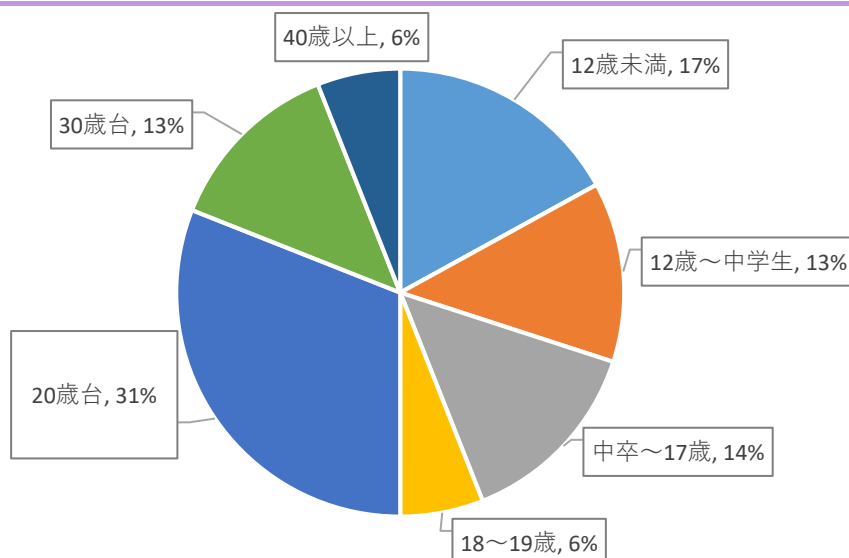
<電話相談>

女性 81.7%、男性 14.0%

<面談>

女性 97.5%、男性 2.3%

被害時の年齢



■ 12歳未満 ■ 12歳～中学生 ■ 中卒～17歳 ■ 18～19歳 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳以上

※年代が不明の者を除いた場合の割合（令和4年6月～8月）

センター事業報告

第3回講座 歴史から見えてくる男女共同参画

～法律や制度は変わったのに、なんでまだ118位なの？～

日時：10/5（土）13：00～15：00 場所：実穀ふれあいセンター 参加者 18人



国立女性教育会館情報課 森 未知氏を講師に迎え『歴史から見えてくる男女共同参画』講座を開催。

戦後80年、日本では様々な男女平等社会を目指した法律や制度が成立しました。今、私たちが当然のように受けとっている権利や自由を獲得するまでの歴史、その時代を生きた女性たちのたゆまぬ努力を知り、社会的背景の移り変わりや私たちの意識の変化を振り返ることで、これからどうしたらよいかを考える機会となりました。

参加者の声

- 選挙制度によって女性議員の変わり得ることを学んだ。今まで互選か政治の安定性以外で考えたことがなかったので改めて考えたい。
- 長い歴史の中での活動がわかった。
- 教育の大切さと、政治が変わらなければ私たちの生活は変わらないということを学んだ。
- 選挙権をもつようになった当時の選挙投票用紙を初めて知った。

第4回講座 気付こう！身近にある「ダイバーシティ」とあなたの 中の「アンコンシャス・バイアス」（無意識の思い込み）

日時：11/30（土）10：00～12：00 場所：吉原交流センター 参加者 13人

県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」の齋藤 幸子氏による解説とワークショップを開催しました。ダイバーシティ&インクルージョンの定義や必要性を学び、誰もが潜在的にもっているアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）についてグループワークを通して、「気づく」ことができました。参加者からは「楽しかった！また今回のような参加型を受講したい」とのご感想をいただきました。

参加者の声



- 無意識の偏見が自分にあることを再確認した。
- 企業のCMにはハットさせられました。他の方の意見を聞きながらそういう見方もあるなと感じた。
- 育ちや環境で考え方や価値観が違うのでよく話をする必要があると思った。お互いに理解し合うことは夫婦にも言えると思った。
- 様々なデータを示しながらわかりやすく説明してもらったので楽しめた。ワークが楽しかったので参加者が少ないのがもったいないと感じた。
- 多様性は受け入れているつもりですが、自分にバイアスがたっぷりあることを自覚してしまいました。

●あみ・男女・まち・ねつとの活動報告

※「あみ・男女・まち・ねつと」は、
男女共同参画推進団体です。



◆『出前講座』 9/1（日）一区公会堂

一区親和会出前講座に講師として3名が参加し、「老い支度：未来ノートと元気で長生き10か条」についてお話をいただきました。参加者からは「老い支度への参考になった」「未来ノートにIDやパスワードは書き込まないこと」「人生の使い方が参考になった」などの感想をいただきました。

◆阿見町男女共同参画センター事業「出前講座」のご案内

町男女共同参画センターでは男女共同参画の実現に向けて、啓発活動として「出前講座」を実施しています。講師は「あみ・男女・まち・ねつと」の皆さんです。老い支度のための「未来ノート」「自分らしく今を生きる、元気で長生き10か条」、「一人一人の防災対策」など身近な内容の講座です。地域やサークルの学習会等に無料で伺います。ぜひご利用ください。●申込みは随時受け付けております。男女共同参画センターに電話又はFAXでお申込みください。



第5回センター講座のお知らせ

知っ得！
なっ得！

お薬講座

～知っておきたい「くすり」の話～

参加無料
定員 20名

2025年2月22日（土）10：00～12：00

本郷ふれあいセンター



講師：県薬剤師会 石原 直子氏

- 薬の正しい飲み方・使い方
- 薬の飲み合わせと副作用
- 薬と健康食品の違い…など。

皆様の健康や薬についての悩みや疑問、不安を解決し、将来の健康づくりをお手伝いいたします。

※申込等の詳細は、広報あみ2月号通常版、町ホームページ、ポスター等をご覧ください。

